

○事業所名	放課後等デイサービスまほら。（はなえみ。）			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～	2025年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (23)	(回答者数)	21(20)
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～	2025年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多様な経験ができるよう、毎月計画的な活動を提供していること。	・子どもの興味・関心や発達段階に応じて、活動内容に変化を持たせている。 ・活動のねらいを職員間で共有し、目的を持った支援となるよう意識している。	活動後の振り返りを行い、次の活動内容やつ支援方法に反映していく。
2	様々なイベントを実施や地域イベントへの参加を通して、社会性を育む支援を行っていること。	・事前に活動内容や流れを説明し、見通しを持って参加できるよう配慮している。 ・挨拶や順番を待つことなど、社会的ルールを実践の中で学べるよう支援している。	社会資源との連携を深め、参加できる活動の幅を広げていく。
3	日頃から子どもの様子について保護者と丁寧な情報共有を行い、子どもの発達状況や課題について共通理解を図っていること。	・良かった点だけでなく、課題についても丁寧に共有するよう心がけている。 ・保護者の思いや困りごとに耳を傾け、相談しやすい関係づくりを意識している。	保護者が気軽に相談できる関係づくりを継続し、安心して子育てについて話せる環境づくりに努めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が希薄であること。	保護者会等、保護者同士が交流する場が設けられていないこと。 保護者が参加できる行事が少ないこと。	行事や説明会の機会を活用し、保護者同士が顔を合わせる場を検討する。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会が少ないこと。	放課後児童クラブや地域施設との連携体制が十分に構築できていない。	小集団や地域の行事参加など、子どもの特性に配慮した交流の機会を段階的に検討する。
3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が十分ではないこと。	スロープや手すり等の設置について、十分な検討・整備が行き届いていない。	利用児童の状況に応じて、必要な設備や環境改善を検討する。